



SMAM

# マーケット・ウィークリー (No.372) 【2015年7月20日～7月24日】

## <マーケットレポート No.4,319>

情報提供資料

2015年7月27日

### 1. 先週の市場動向

|               | 先々週末      | 先週末       |        |
|---------------|-----------|-----------|--------|
| <株式>          | 2015/7/17 | 2015/7/24 | 前週比    |
| NYダウ(米国)      | 18,086.45 | 17,568.53 | ▲2.86% |
| 日経平均株価(日本)    | 20,650.92 | 20,544.53 | ▲0.52% |
| DAX指数(ドイツ)    | 11,673.42 | 11,347.45 | ▲2.79% |
| FTSE指数(英国)    | 6,775.08  | 6,579.81  | ▲2.88% |
| 上海総合指数(中国)    | 3,957.35  | 4,070.91  | 2.87%  |
| 香港ハンセン指数(中国)  | 25,415.27 | 25,128.51 | ▲1.13% |
| ASX指数(豪州)     | 5,670.11  | 5,566.10  | ▲1.83% |
| <リート>         | 先々週末      | 先週末       | 前週比    |
| S&Pグローバルリート指数 | 174.63    | 172.83    | ▲1.03% |
| <債券>(利回り)(%)  | 先々週末      | 先週末       | 前週差    |
| 米国10年国債       | 2.347     | 2.262     | ▲0.084 |
| 日本10年国債       | 0.426     | 0.411     | ▲0.015 |
| ドイツ10年国債      | 0.788     | 0.691     | ▲0.097 |
| 英国10年国債       | 2.078     | 1.934     | ▲0.144 |
| <為替>          | 先々週末      | 先週末       | 前週比    |
| ドル円           | 124.09    | 123.81    | ▲0.23% |
| ユーロ円          | 134.38    | 135.98    | 1.19%  |
| ユーロドル         | 1.0830    | 1.0984    | 1.42%  |
| 豪ドル円          | 91.43     | 90.17     | ▲1.38% |
| <商品>          | 先々週末      | 先週末       | 前週比    |
| 商品(CRB指数)     | 214.54    | 205.04    | ▲4.43% |
| 原油先物価格(WTI)   | 50.89     | 48.14     | ▲5.40% |

### 【先週の市場の振り返り】

#### <株式>

米欧株は、下落しました。主要企業の業績見通しが予想以下となったことや、資源価格の下落と中国の企業景況感の下振れで、世界経済減速が意識されたことなどから、総じて軟調な展開となりました。

米国では、4-6月期の決算発表はこれまで総じて予想を上回る企業が多いものの、主要IT企業の来期売上見通しが市場予想を下回ったことなどが株価の下落要因となりました。

中国株は、当局の一連の株価対策の効果などから上昇しました。

日本株は、決算発表の本格化を前に材料が少ないなか、米欧株の下落の影響を受け、下落しました。

#### <債券>

米国やドイツの国債利回りは低下しました。ギリシャ問題が一旦落ち着き、市場の関心が米利上げや世界経済に移るなか、資源価格の下落を受けてインフレ見通しが後退し、国債の利回りは低下しました。

#### <為替>

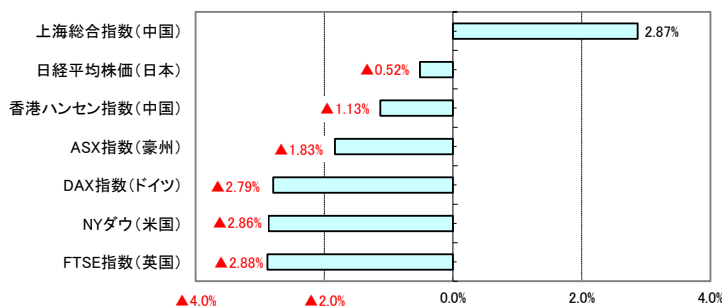
ドル円は、ドルが下落しました。米株安、米国債利回りの低下を受け、ドルは円やユーロに対して下落しました。

ユーロ円は、ユーロが上昇しました。ギリシャ問題が一旦落ち着き、ユーロは対ドル、対円ともに上昇しました。

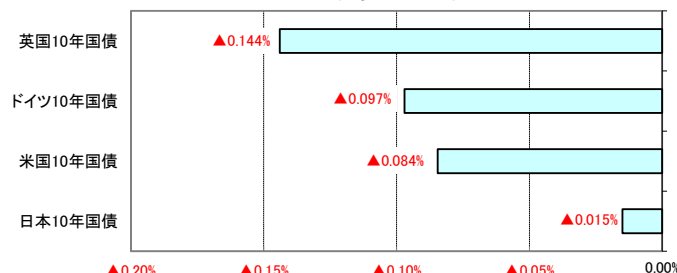
#### <商品>

原油価格は、下落しました。米国の原油需給が緩む懸念が根強いなか、世界経済の減速懸念や石油輸出国機構(OPEC)の増産観測などを受けて、20日には4月6日以来となる1バレル50ドル割れとなりました。

株式(前週比)

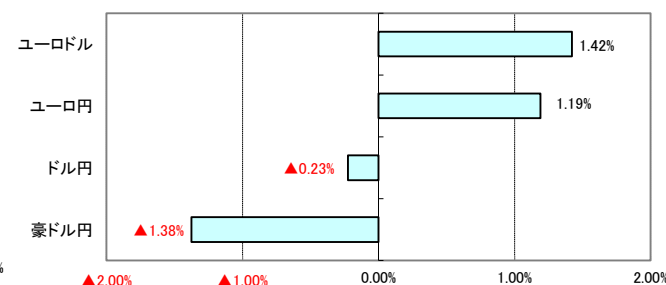


10年国債利回り(前週差)



※利回りの低下は債券価格の上昇を表します。

為替(前週比)



※ユーロドルのプラス表示はユーロ高・ドル安。

当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

三井住友アセットマネジメント株式会社



SMAM

# マーケット・ウィークリー(No.372) 【2015年7月20日～7月24日】

## <マーケットレポート No.4,319>

情報提供資料

2015年7月27日

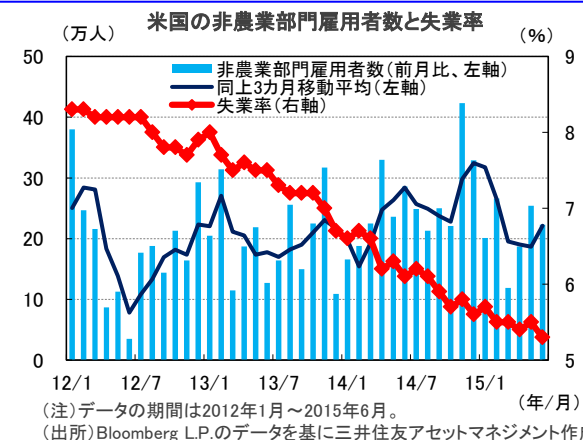
### 2. 先週のマーケット・デیلیー/ウィークリー

|          | テーマ                    | ポイント                                                                                                                                                                                                                       |
|----------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7/21 (火) | 先週のマーケットの振り返り          | 2015/7/13～7/17のマーケットの振り返り                                                                                                                                                                                                  |
| ☆        |                        |                                                                                                                                                                                                                            |
| 7/22 (水) | 最近の指標から見る米国経済(7月)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>6月の非農業部門雇用者数は前月比22.3万人増加しました。今年後半には増加の勢いが強まると予想されます。</li> <li>6月のISM製造業・非製造業景況感指数は、ともに総合指数が改善し、企業景況感は堅調です。</li> <li>景気は順調に拡大し、年後半には利上げ開始が見込まれますが、その後の利上げペースは緩やかと見られます。</li> </ul>   |
| ☆        |                        |                                                                                                                                                                                                                            |
| 7/23 (木) | 最近の指標から見るブラジル経済(7月)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>物価高や利上げなどから、生産と輸出の低迷が継続し、小売売上高も減少基調です。</li> <li>7月前半の消費者物価指数は前年同月比+9.25%と上振れし、中銀は利上げを継続しそうです。</li> <li>利上げで一部の物価は落ち着いており、経済・政治情勢の好転期待が高まれば、レアルの下支えが期待されます。</li> </ul>               |
| 7/24 (金) | トルコ中銀、5会合連続で政策金利を据え置き  | <ul style="list-style-type: none"> <li>トルコ中央銀行は23日、1週間物レポ金利を7.50%とし、5会合連続の据え置きを決定しました。</li> <li>過去の通貨安などにより基調的な物価上昇率の低下が遅れており、中銀は、物価見通しの改善を待つ姿勢です。</li> <li>大幅なリラ安には利上げが予想されるなど、中銀の政策はリラをサポートする見込みです。</li> </ul>           |
| 7/24 (金) | 南アフリカ中銀、1年ぶりに政策金利を引き上げ | <ul style="list-style-type: none"> <li>南アフリカ準備銀行(中銀)は23日、政策金利(レポ金利)を0.25%引き上げ、6.00%とすることを発表しました。</li> <li>今回の利上げの背景は、通貨安、食品価格の上昇、電力料金引き上げなどによる、物価見通しの上振れです。</li> <li>市場では、中銀は金融引き締めスタンスを続けるとの見方が大勢で、ランドの支援材料です。</li> </ul> |

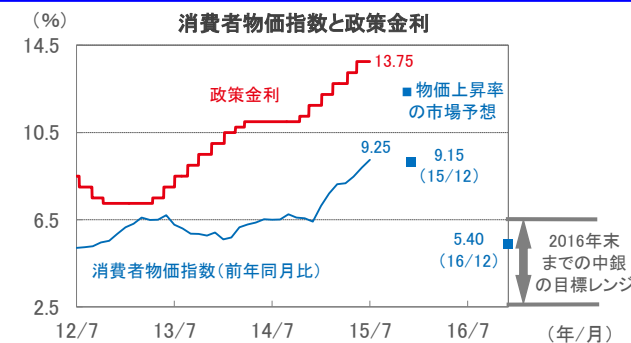
☆ は右の「グラフ・図表」参照

### ☆先週の市場動向に関連する代表的な「グラフ・図表」

☆7/22【最近の指標から見る米国経済(2015年7月)】  
生産、雇用、消費の好循環を維持



☆7/23【最近の指標から見るブラジル経済(2015年7月)】  
物価抑制が好転のカギ



当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



三井住友アセットマネジメント株式会社



# マーケット・ウィークリー(No.372) 【2015年7月20日～7月24日】

SMAM

<マーケットレポート No.4,319>

情報提供資料

2015年7月27日

## 3. 今週の主な注目材料

| 日付          | 米国                                            | 日本                                                | 欧州                                                    | アジア・オセアニア・その他                                   |
|-------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 7/27 (月)    | 6月耐久財受注<br>6月製造業受注                            |                                                   | ドイツ7月Ifo景況感指数 ☆                                       |                                                 |
| 7/28 (火)    | 5月S&P/ケース・シラー住宅価格指数<br>7月消費者信頼感指数(コンファレンスボード) |                                                   | 英国4-6月期GDP(速報値)                                       | タイ6月製造業生産指数                                     |
| 7/29 (水)    | 連邦公開市場委員会(FOMC、28～29日) ☆                      | 6月商業販売統計<br>7月中小企業景況判断                            |                                                       | ブラジル金融政策委員会(28～29日開催) ☆                         |
| 7/30 (木)    | 4-6月期GDP(速報値)                                 | 6月鉱工業生産指数 ☆                                       | ユーロ圏7月景況感指数 ☆<br>ドイツ7月消費者物価指数(速報)                     | メキシコ金融政策決定会合                                    |
| 7/31 (金)    | 7月ミシガン大学消費者信頼感指数                              | 6月完全失業率・有効求人倍率<br>6月消費者物価指数<br>6月家計調査<br>6月住宅着工件数 | ユーロ圏7月消費者物価指数(速報)                                     | ロシア金融政策決定会合<br>タイ6月貿易統計                         |
| ☆<br>今週の注目点 | 利上げ時期やベースについてのFRBの判断が注目されます。                  | 6月の生産指数がどの程度改善するか、4-6月期のGDP成長率を予想するうえで、注目されます。    | ギリシャ問題の不透明感が増した時期に、ユーロ圏やドイツの企業景況感がどのような影響を受けたか注目されます。 | ブラジルでは利上げの継続が予想されるなか、今後の利上げ余地についての見方が焦点となりそうです。 |

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

先週の注目の「マーケット・デیلیー」

2015年07月22日 最近の指標から見る米国経済(2015年7月) 生産、雇用、消費の好循環を維持【デیلیー】

2015年07月23日 最近の指標から見るブラジル経済(2015年7月) 物価抑制が好転のカギ【デیلیー】

先週の「マーケット・ウィークリー」

2015年07月21日 先週のマーケットの振り返り(2015/7/13-7/17)【ウィークリー】

先月の「マーケット・マンスリー」

2015年07月01日 先月のマーケットの振り返り(2015年6月)【マンスリー】

先週の注目の「マーケット・キーワード」

2015年07月24日 「イラン核協議」と原油相場(グローバル)【キーワード】

弊社マーケットレポート

検索!!

当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



三井住友アセットマネジメント株式会社



SMAM

# マーケット・ウィークリー(No.372) 【2015年7月20日～7月24日】

## <マーケットレポート No.4,319>

情報提供資料

2015年7月27日

### 【重要な注意事項】

#### 【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

##### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

##### ●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限3.78%（税込）
  - ・・・換金（解約）手数料 上限1.08%（税込）
  - ・・・信託財産留保額 上限3.50%

- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限年 2.052%（税込）

- ◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由により予め具体的に記載することはできません。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメントが運用するすべての投資信託（基準日現在において有価証券届出書を提出済みの未設定の投資信託を含みます。）における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

●投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

●投資信託は、クローズド期間、国内外の休業日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

[2014年4月1日現在]

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。



三井住友アセットマネジメント株式会社